

# 国道30号線共同経営計画

岡山電気軌道株式会社  
両備ホールディングス株式会社

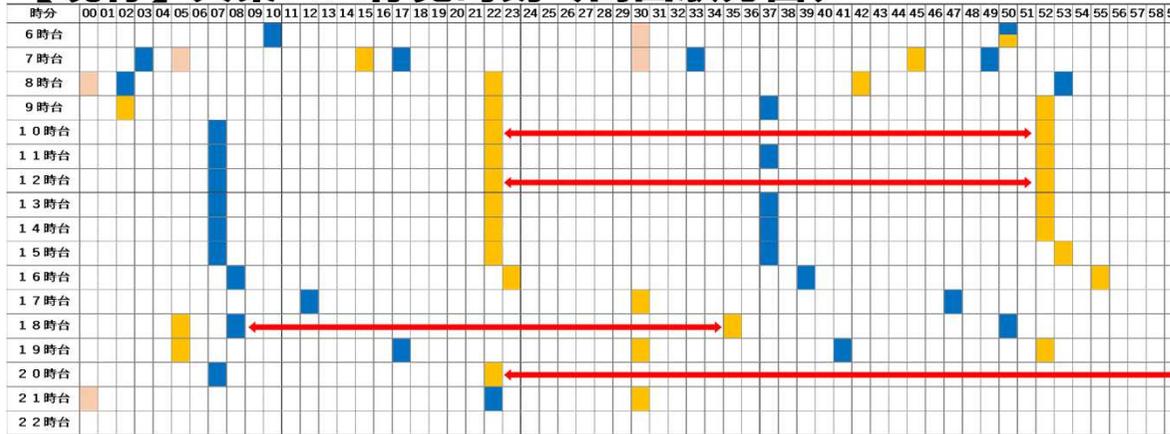
# 共同経営計画の対象範囲・計画の内容

- ▶ 区域：岡山市内国道30号線沿線
- ▶ 路線：岡山駅～大東線
- ▶ 系統
  - 岡山電気軌道株式会社
    - 第E-14号系統（岡山駅～天満屋～大東）など3系統
  - 両備ホールディングス株式会社
    - 第120号系統（岡山駅～当新田～渋川3丁目）など8系統
- ▶ 計画の内容：ダイヤ調整・停車停留所の統一化と収益の分配
  - 2社で共同して運行ダイヤを調整し、お客様の利便性を損なわず運行の効率化を図る。
  - 停車停留所を統一化し、両備・岡電関係なく、ご利用を頂けるようにする。



# 運行ダイヤの調整 (案)

## 【現行】大東バス停発時刻（岡山駅方面）



運行回数合計

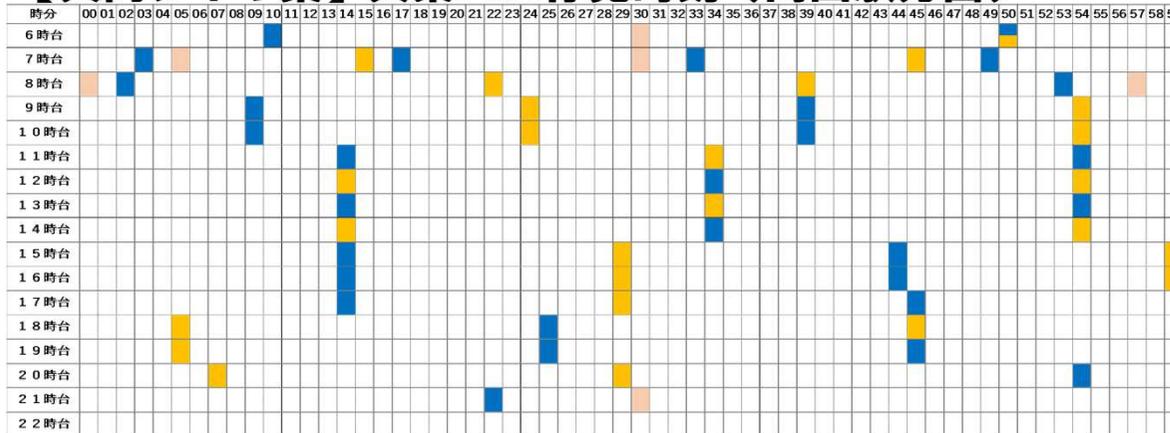
64回

昼間時間帯において最大30分の待ち時間となる時間帯が存在する。

トラッシュ時間帯において最大27分の待ち時間となる時間帯が存在する。

夜間帯において最大38分の待ち時間となる時間帯が存在する。

## 【共同ダイヤ案】大東バス停発時刻（岡山駅方面）



運行回数合計

60回

運行回数は減回となるが、昼間時間帯は最大でも20分の待ち時間となる

トラッシュ時間帯は15～20分間隔での運行となる。

夜間帯は最大でも28分の待ち時間となる

■ 両備バス運行便（天満屋経由）

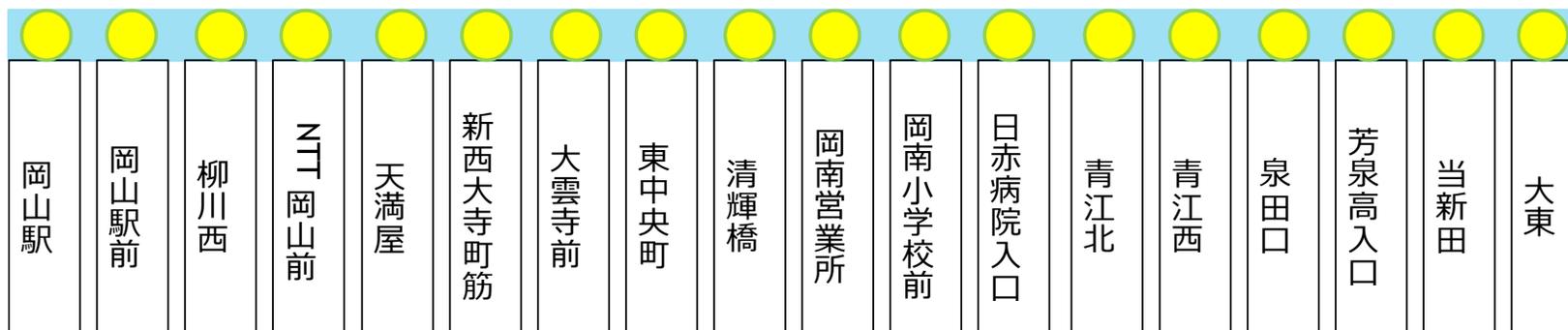
■ 岡電バス運行便（天満屋経由）

■ 岡電バス運行便（市役所経由）

岡電バス岡南営業所止めは除く

# 停車停留所の共通化

岡電バス

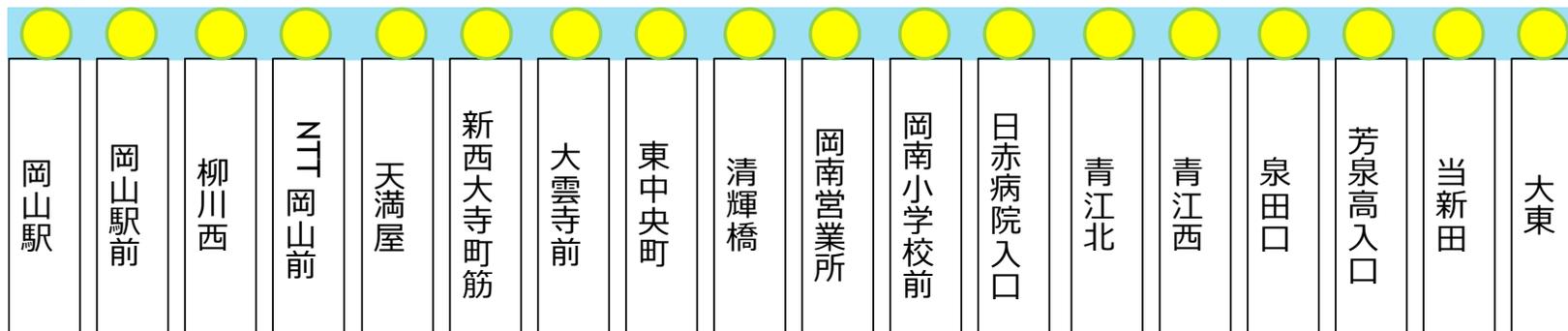


至 玉野

両備バス



岡電バス



至 玉野

両備バス

## 対象システムの昨年度の収支状況（2019年度）

千円

	運送収入	営業費用	損益
両備ホールディングス	119,843	173,393	▲53,550
岡山電気軌道	91,722	116,816	▲25,094
合計	211,565	290,209	▲78,644

# 共同経営計画を実施することによる効果

## ▶ 運行回数

平日 3.5回減便

土日祝 6.5回減便

## ▶ 走行キロ

平日一日あたり ▲55,1 km

土日祝一日あたり ▲100,3 km

## ▶ 変動費（人件費＋燃料油脂費） ※1 kmあたり130円で計算

平日 ▲7,163円

土日祝 ▲13,039円

## ▶ 固定費（車両修繕費・保険など）

1日あたり ▲4,005円

## ▶ 削減できる費用

一日あたり 平日 **11,168**円

土日祝 **17,044**円



**削減費用を両社の運行本数で  
按分する**

# まとめ

## ▶ 共同経営計画後の運行回数（案）

岡山電気軌道	平日・・・31.5回	土日祝・・・25.0回
両備ホールディングス	平日・・・28.5回	土日祝・・・21.5回

## ▶ 一年間当たりの効果

岡山電気軌道	経費削減額	2.5百万円
〃	※減収額	▲1.4百万円
両備ホールディングス	経費削減額	2.2百万円
〃	※増収額	1.4百万円

※岡電バスの減回により両備バスにお客様が移行すると思われる金額